

愛ちゃん

社協だより

NO. 91

令和6年(2024)1月号

発行 社会福祉法人 立科町社会福祉協議会
TEL.0267-56-1825 有線4091
FAX.0267-56-3815



第16回

たてしなふれ愛むら開催

今年は町内外の障がい福祉サービス事業所に参加していただき開催しました。

バザー、ステージ発表、出店・体験コーナーなど、たくさんの町民の皆さん、ボランティアの方々に参加していただき、地域とのふれあいの輪をひろげることができました。

今月の記事

- | | |
|---------------------|-----|
| ●ふれ愛むら | 2・3 |
| ●福祉リサイクルバザー | 4 |
| ●ふれ愛園だより | 5 |
| ●地域の活動紹介します・ただいまだより | 6 |
| ●希望の旅・ボランティアさん紹介 | 7 |
| ●社会福祉協議会からのお知らせ他 | 8 |

「愛ちゃん」の発行には
「赤い羽根共同募金」の配分金が使われています。

開催しました!



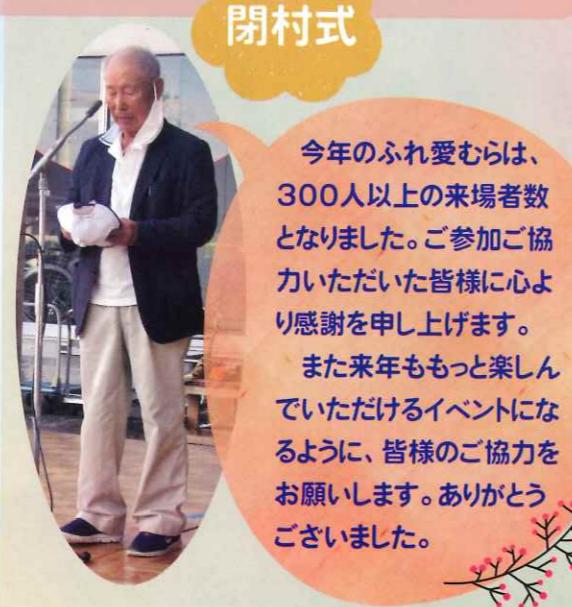
担当職員 西方歩美
指していきたいと思います。

これからもたてしなふれ愛

ボランティアの皆さんに多大なご協力をいただき、たてしなふれ愛むらを盛大に開催する事ができました。心より感謝申上げます。

町民の皆さん、各関係団体・

ボランティアの皆さんに多大なご協力をいただき、たてしなふれ愛むらを盛大に開催していく様な活動していきました。そしてこの様々なイベントを通して、互いに支え合つて暮らしていく様な地域づくりを目指していきたいと思います。



今年のふれ愛むらは、300人以上の来場者数となりました。ご参加ご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

また来年ももっと楽しんでいただけるイベントになるように、皆様のご協力をお願いします。ありがとうございました。

10月28日(土)当日は天候にも恵まれ、大勢の地域の皆様にご来場いただきました。今年も老人福祉センター及び前駐車場を会場とし、町内外の障がい福祉サービス事業所、障がい者関係団体、民生児童委員、立科小学校合唱部の皆さん等にご参加いただきました。

開村式のテープカットを皮切りに、ステージ発表が始まるところ、会場に一体感が生まれ大変盛り上りました。出店ブースでは、各団体が趣向を凝らして、体験コーナーや展示、作品の販売を行い、大好評でした。



第1回ふれ愛むらから携わり、本年も参加できてよかったです!心と心の交流できたよね~!

第16回たてしなふれ愛むら

第35回

福祉リサイクルバザー

掘り出し物が
たくさん！

どれに
しようかしら？

今年で35回目を迎えた福祉リサイクルバザーですが、節目の開催に相応しく、大勢の方にご来場いただきました。

ピーク時のレジ待ちの列は会場の後ろまで続き、大繁盛でした。品物を提供していくさつた皆さん、当日買い物に来てくださいました皆さま、そして開催のためにお手伝いいただいたボランティアの皆さんありがとうございました！

このバザーの売上は、住民貸出用福祉車両（車いす対応車）購入のための資金とさせていただきます。

担当職員 内藤明香



★ 品物ご提供者……90人
★ 参加ボランティア
延べ人数……57人

バザー売上
128,036円



働く仲間の事業所

たてしなふれ愛園だより

令和4年6月号の社協報愛ちゃんで、ふれ愛園で購入した多目的食品乾燥機とマルチ千切り機の紹介をしました。

その後、町民の方から野菜や果物の加工の依頼を受けたこともあり、大根、しいたけ、なす、人参、りんごなどの乾燥を行いました。



美味しい
切干大根作るよ♪



また、ふれ愛園で栽培した大根で切り干し大根を作り、10月28日に行われた、たてしなふれ愛むらで販売しました。

利用者の皆様にも、材料を切る、りんごの芯を抜く、トレーに並べるなどの作業に関わっていたたく事で、作業種の拡大につなげることができました。

これからも近隣で栽培した大根などの野菜やりんごなどをふれ愛園に持ち込んでいただき、切る行程から乾燥までを請け負つていき、その中で生まれた地域の

感想いただきました！

保存が効くので、野菜の採れない時期に煮物に味噌汁の具に大活躍でした。



甘みがあって美味しい！

虫やほこりがついていないので、安心して食べられました♪



たくさん採れた野菜を廃棄せずに済んで良かったわ。



よろしく
お願いします！

生活支援員 萩原 恵



皆様との繋がりを大切に食品口
スの削減にも取り組んでいきた
いと思っています。
ぜひ、ご興味やご関心がある方
は、お気軽に下記の連絡先までお
問合せ下さい!!

生活支援員 間ヶ部 陽子



手編みの帽子
ありがとうございます

さいました。

今年もありがとうございました。

担当職員 飯塚 千鶴子



燻製
サイコー!

ただいま
だより

立冬過ぎのある朝、町内にお住まいの方がお手製の燻製箱を軽トラックに乗せて「ただいま」を訪ねて下さいました。この日は、リンゴや桜の木のチップで燻製作りを行いました。

燻製の香りと共にゆっくりとした時間が流れ、戻近くには香り高いチーズやウインナーソーセージが完成しました。「やっぱり作りたては味が違うね～」「柔らかくて、いい香りだいね～」

は、普段お一人で過ごすことの多い「ただいま」利用者の皆さんにとって、大切な明日への活力となっています。

これから年末にかけて干し柿作りや焼き芋会、お正月飾り作りなど目白押しの予定が入っています。「つなぎ」を大切に、来年も笑顔が広がる「ただいま」でありたいと思います。

中ありがとうございました。

「ただいま」には年間通じてたくさんの方々が訪ねて下さいます。歌や読み聞かせのボランティアの皆さまをはじめ、春から秋にかけては山菜や夏野菜・大根・カボチャ・渋柿などの食材、お手製の茶菓子や毛糸編みの帽子……そして時にはタニシやドジョウも届くことがあります。



来年も
“つながり”を
広げていきます

地域の活動紹介します

地域福祉コーディネーターのつぶやき

地域づくりやボランティア活動は「自分のため」にやるもの、とよく言われています。ですがそれを実感できる機会はあまり多くないかもしれません。Tさんの「助けられていた」の一言がとても重く感じられました。



た。「自分のため」と感じられる活動をもっと広めていかなければいけないと原点に返ったひと時でした。

地域福祉コーディネーター 内藤 明香

その方は、今まで居場所を作ることで「近所さんの役に立てている。それを励みにしてきた、と思っていたそうですが…「お客様が来なくなつて寂しい。毎日のお茶飲みで、どれだけ自分が助けられていたかわかった」とおっしゃっていました。



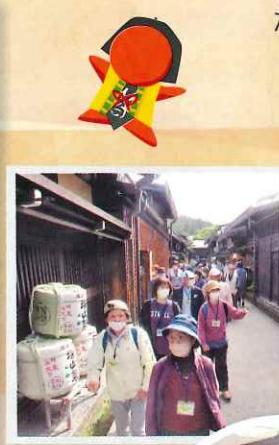
先日お伺いしたお宅のこと。そのお宅は、毎日のように入れ替わりご近所の方がお茶飲みに寄るようなお家です。

最近、お茶を飲みに来る人が次々と体調を崩してしまい、めつきりお茶飲みの機会が減つたそうです。

『希望の旅』in岐阜県 高山市に行ってきました!!



10月7日(土)に「希望の旅」事業を実施しました。
「希望の旅」は町内在住の障がい者手帳をお持ちの方と支援者の方が旅行を通して交流し、親睦を深める事業です。



今年の行き先の目玉は岐阜県高山市にある「高山まつりの森」と高山古い街並みの観光です。当日は天候にも恵まれ、早朝に大型バスで出発し、お昼前に「高山まつりの森」に到着しました。最初に高山祭りミュージアムを見学しました。館内では日本三大美祭の高山祭りで使用される豪華絢爛につくられた屋台や世界一の大太鼓の展示を見学しました。タイミング良く、屋台のからくりも観ることができ、参加者の方々から「精巧にできているね」「可愛い動きをするね」等の声があがっていました。



見学後は飛騨豚せいろ蒸し御膳をみんなで美味しく頂き、お土産選びを楽しんだ後、バスで高山の中心市街地へ移動。高山の古い街並みはまるで江戸時代にタイムスリップしたかのような光景が続いており、景観を楽しみながら散策しました。ソフトクリームやお団子、飛騨牛の握りの食べ歩きや、会話を楽しみました。

参加した方々から「良い場所に連れて行ってくれてありがとう」「初めて行った場所で楽しかった。また行きたいです!」等の喜びの声を頂きました。今年は遠方への旅行となりましたが、みんなとの楽しい思い出がたくさんできて良い一日となりました。

担当職員 小宮山 寛

スポーツ少年団野球部と美化活動のみなさん



11月18日(土)

参加した方々から「良い場所に連れて行ってくれてありがとう」「初めて行った場所で楽しかった。また行きたいです!」等の喜びの声を頂きました。今年は遠方への旅行となりましたが、みんなとの楽しい思い出がたくさんできて良い一日となりました。

スポーツ少年団野球部のみなさんや今回ご協力いただいたみなさんの立科町への愛情あふれる姿に心温まりました。

昨年に引き続き、今年もスポーツ少年団野球部のみなさんの「地域に貢献したい」「立科町に恩返ししたい」という思いと長年町内の美化活動をされている皆さんから「コキアの種を立科町のボランティアと植えたい」という依頼を受け、国道沿いのごみ拾いと種まきを行いました。

とても寒い朝でしたが、元気いっぱいの挨拶ではじまり、ごみ拾いや種植えを真剣にされていました。活動後には、「たくさん植えました!」嬉しそうに話してくれました。また、「コキアいつ見られるかな?楽しみだね」と目を輝かせていました。



コキアは成長すると
こんなにキレイ!



国道のごみ拾いと
コキアの種まきの
ボランティアを
実施しました!

ボランティアコーディネーター 山越 未来

職員募集のお知らせ

【令和6年4月1日採用】

採用予定 正規職員(事務職員及び看護師)……若干名

事務職員 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助

法人運営業務(主に会計事務)

仕事内容



採用条件

・心身ともに健全で福祉に理解と情熱のある方

・普通自動車運転免許証取得者

・福祉関係の資格や経験があれば尚可(資格や経験がなくても可)

・看護師の募集については看護師・准看護師免許をお持ちの方



申込期間

1月4日(木)～1月26日(金)

※申し込み方法など詳しくは
立科町社会福祉協議会まで
お問い合わせください。

善意のご寄付ありがとうございます

十八塚りんご組合りんごコンテナ 2箱分

寺島 義則 様玉ねぎ 10kg

遠山 陽江 様玄米 30kg

匿名の方々米(穀・玄米) 210kg



いただいたご寄付は、地域の福祉の推進に
活用させていただきます。

食品のご寄付は、町内で活用するとともに、
近隣の社会福祉協議会を通じて広域で活用
させていただいております。

ちょっと一息
頭の体操

立科町 クイズ

第1問

立科町の町鳥はキジですが、
キジは冬の間どこで暮らして
いるでしょうか。



キジは飛ぶのがあまり
得意ではありません。

① 南の国に
渡って暮らす

② 巣の近くから
離れないで暮らす

第2問

立科町はちょうどよのうな形
をしていますが、一番細い部分
の距離はどのくらいでしょう。



日本一ちぎれそうな町って
言われてるよ。

① 53.5メートル ② 93.5メートル

前回の答え 第1問「②番屋川」 第2問「①つがる」

官製はがきに ①から⑤をご記入のうえ、立科町社会福祉協議会へお送りください。

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④クイズの答え ⑤今号の社協だよりのご意見・ご感想

※当選者の発表は、
商品の発送をもって
代えさせていただきます。